

整形外科 野尻 先生 紹介



新しく着任された整形外科の先生に今までの診療経験と今後の抱負をインタビューしました。

**Q・どのような診療を行ってきましたか？
(経歴)**

A. 1994年に京都府立医科大学を卒業した後、舞鶴市、吹田市、城陽市など各地の中核病院で勤務してきました。

救急病院にも長く在籍しており、緊急性の高い外傷性疾患の手術から御高齢の方々の慢性疾患まで(変形性膝・股・肩関節症、腰痛、骨粗鬆症など)、多くの経験を積んでまいりました。



Q・具体的な治療方法は？

A. 骨折を主とした外傷治療と、膝・股関節などの関節疾患に関する経験が豊富であるため、これらの領域を得意としています。低侵襲手術(皮膚の切開を最小限にし、筋肉など周囲組織をできるだけ温存する手術)にも積極的に取り組み、比較的新しい手術手技での治療が可能と考えています。



先生ありがとうございました。

Q・今後新病院でやっていきたいこと(抱負)

A. 新しく、そして美しく生まれ変わる太秦病院で、整形外科治療を充実させます。これまで積み上げてきた経験から得た技術に一層磨きをかけて、太秦病院を信頼して来られる多くの患者様に、満足のいく治療をうけていただけるよう頑張ってまいります。

整形外科 山田 先生 紹介



新しく着任された整形外科の先生に今までの診療経験と、今後の抱負をインタビューしました。



Q・どのような診療を行ってきましたか？

A. 救急病院で救急外傷など様々なことを行ってきました。関節外科の基礎を学びました。(大学での主論文は、膝関節スポーツ外科でした)

Q・具体的には

A. 外傷は当然ですが、スポーツ外傷・前十字靭帯損傷・膝関節・股関節人工関節手術など、数多く扱ってきました。肩関節外科(五十肩)リハビリや肩板損傷手術・肩脱臼手術(内視鏡手術なども含む)なども積極的に行ってきました。

Q・今後新病院でやっていきたいこと(抱負)

A. 時間的(手術・診療)なことを考慮しつつ、病院の規模に応じた大腿頸部骨折手術や扁平足、外反拇趾(普段の生活では、そこまで気にならないような事)の装具療法を積極的に進めたいと考えています。

・これまでの経歴

京都府立医科大学附属病院卒
京都第一赤十字病院
(研修時代)
朝日大学村上記念病院(岐阜)
京都府立医科大学附属病院
京都きづがわ病院
愛生会山科病院
大津市民病院
大原記念病院



先生ありがとうございました。